

■委員会等への参加実績

登録者名	年度	委員会等の名称	実施期間	委員会等の設置団体	依頼者	活動内容(詳細)
青木 和壽	H28	「知」の集積と活用の場産学官連携協議会	平成28年11月15日	「知」の集積と活用の場産学官連携協議会	「知」の集積と活用の場産学官連携協議会	第3回プロデューサー会議出席（平成28年11月15日）
青木 和壽	H28	「知」の集積と活用の場産学官連携協議会	平成29年2月7日	「知」の集積と活用の場産学官連携協議会	「知」の集積と活用の場産学官連携協議会	第4回プロデューサー会議出席（平成29年2月7日）

■自然エネルギー事業へのアドバイス等の実績

登録者名	年度	事業の名称	事業の内容 規模・場所等	実施時期	依頼者	実施概要	活動内容(詳細)	アドバイス等の結果、 事業化に至った案件と その内容
青木 和壽	H26	既存風力発電の再稼働検討 500Kw×2基	福島県岩瀬郡天栄村	平成26年12月9日～継続中		風力発電の再稼働に向けた検討	既存の風力の再稼働の検討依頼を受け、発電システムの修理、運用事業者(リパワリングも含め)の策定をした。国内初の民間風力発電設備である	
青木 和壽	H27	高断熱性木製サッシのIT活用した情報提供システム開発	長野県千曲市	平成27年9月30日～平成28年9月15日	株式会社山崎屋木工製作所	2020年には全ての建築物・住宅の断熱性能適合義務化が実施されることから、建物の省エネルギーに貢献する高断熱性木製サッシの情報提供サービスの開発。 窓の大きさや開閉方式による窓の断熱性能を瞬時に、顧客に提示するシステム	弊社のもつ超断熱サッシ技術を提供と、情報提供システムの基本となる高断熱性木製サッシの断熱性能解析実施による技術協力	平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金事業採択
青木 和壽	H28	木曽ひのき材による高性能木製窓・ドアの開発・製造・販売	地域木材を活用による生産から運用まで他の素材に比べLCAに優れ、建築物の省エネルギー化を促進する高性能木製窓・ドア開発と事業化への取り組み	平成28年4月1日～平成33年3月31日	株式会社山崎屋木工製作所	地域産業資源である木曽ひのき材による高性能木製窓・ドア開発を行い、高断熱性能と、LCAのCO2削減量に優れる製品生産の取組み 長野県内の木材生産団体、木加工機械メーカー、建材流通会社が協力した事業	弊社のもつ超断熱サッシ技術を提供し、複数の窓開閉方式開発、窓性能の解析技術協力	中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律第6条第1項の規定に基づく、地域産業資源活用事業計画認定予定(平成28年2月)
青木 和壽	H29	建物の省エネルギー化に貢献する木曽の木材による高断熱木製窓量産化プロジェクト		平成29年7月20日～2019/3/31	マルオカ工業株式会社	木曽の木材による地域産業資源である木曽材木工芸品の技術と、県内最大の木製品生産システムを活用した建築物の省エネルギーに貢献する高断熱木製窓の量産化事業 既存施設を活用した新事業構築	高断熱木製窓の技術指導事業に関連する企業とのマッチング	
青木 和壽	H29	地域木材のカスケード利用による建物省エネルギーに貢献する木質断熱材開発プロジェクト		平成29年7月20日～平成32年3月	株式会社ランバーテック	地域資源を活用した新事業構築	建築物の省エネルギー化における国際的断熱技術及び解析技術の提供と、事業化支援	
青木 和壽	R1	環境エネルギー分野の産業化研究会(第4回)		平成31年2月4日	長野県環境部	研究会アドバイザーとして「環境エネルギー分野の産業化研究会の活動に対して望むこと/企業連携と新たな需要開拓展開」について講演を行った。		

■講演会の講師等の実績

登録者名	年度	講演会名	開催日時	会場	依頼者	活動内容(詳細)
青木 和壽	H26	①「超断熱サッシシンポジウム 長野」 ②「超断熱サッシシンポジウム 東京」	①平成26年10月22日 ②平成26年10月23日	①国立大学法人信州大学工学部信州科学技術総合振興センター ②建築会館ホール	超断熱サッシ普及検討委員会	超断熱サッシ普及検討委員会が主催する「超断熱サッシシンポジウム 長野」と「超断熱サッシシンポジウム 東京」の開催責任者と講師として参加。平成24年から開発した超断熱サッシ技術についての講演を行った。シンポジウムではドイツのift等研究者を招喚し、世界の建築物における窓技術や、世界の建物の省エネルギーラベリング制度等についての講演を行った。
青木 和壽	H27	平成27年度地球温暖化対策技術開発成果発表会	平成27年1月13日	イイノホール&カンファレンスセンターRoomB1～3	環境省主催：環境省地球環境局地球温暖化対策課	環境省から依頼を受け平成24年度から26年度に実施した、環境省地球温暖化対策技術開発等事業「超断熱サッシ開発による住宅の高断熱化検証とゼロ・エミッション住宅検証」の技術開発成果の情報提供と技術を社会に普及させるための発表
青木 和壽	H28	環境エネルギー分野の産業化に向けた勉強会（各論Ⅰ） 「多分野の産業が関わる省エネ部材の産業化について」	平成29年2月16日	建築物省エネルギー化に貢献する地域高断熱部材産業は、多分野の産業が関わる産業で、地域産業資源を活用して産業構築できることを説明し	長野県環境部環境エネルギー課新エネルギー推進係	建築物省エネルギー化に貢献する地域高断熱部材産業は、多分野の産業が関わる産業で、地域産業資源を活用して産業構築できることを説明した。
青木 和壽	H28	木製遮炎ドアの技術開発	平成29年3月16日	防火地域等でも使用可能な、無薬品処理無垢スギ材・ヒノキ材による熱貫流率 $U=0.8\text{ W/m}^2\cdot\text{K}$ の木製ドアの遮炎性能技術開発の発表	木構造振興株式会社	防火地域等でも使用可能な、無薬品処理無垢スギ材・ヒノキ材による熱貫流率 $U=0.8\text{ W/m}^2\cdot\text{K}$ の木製ドアの遮炎性能技術開発の発表
青木 和壽	H29	上田市庁舎の改築に活かす、断熱・エネルギー性能公開勉強会	平成29年5月15日	NPO法人上田市民エネルギー一般社団法人NECO（自然エネルギー共同設置推進機構）	NPO法人上田市民エネルギー一般社団法人NECO（自然エネルギー共同設置推進機構）	上田市役所建設計画について、断熱やエネルギー性能は環境への配慮だけでなく、将来に渡ってのランニングコストが建物維持を大きく左右することを、断熱による省エネルギー化の先進的研究や実践例を交えての講演
青木 和壽	H29	国際ウッドフェア2017 木質外被研究開発プラットフォーム	平成29年5月25日	木質外被研究開発プラットフォーム	木質外被研究開発プラットフォーム	環境負荷の低減と、建物の省エネルギー化に貢献する木質外被（開口部、屋根・外壁材、断熱材等）の地域での取組みや技術課題をセミナーにて説明

■その他の実績

登録者名	年度	活動の名称	実施時期	依頼者	活動内容(詳細)
青木 和壽	H28	「木質外被研究開発プラットフォーム」	平成28年9月22日～令和4年3月31日		地域資源である木材を活用し、建築物の省エネルギーに貢献する建築物の木質外被を商品化するために必要な理化学的な研究開発を行うことを目的とする研究開発プラットフォームを設立 プロデューサー：青木 和壽 事業目的 （１）木質系外装材の商品化・事業化を念頭に置いたビジネスモデルの構築 （２）木質系外装材の品化・事業化のための研究戦略、研究計画の策定 （３）木質系外装材の商品化・事業化に関連する知財情報の調査及び知財戦略の策定 （４）研究成果等の情報発信及び新たなプラットフォーム会員の勧誘 （５）その他「知」の集積と活用の中産学官連携協議会の活動への協力 等 会員 12企業・団体
青木 和壽	H29	木質外被研究開発プラットフォーム プロデューサー	平成28年9月1日～令和4年3月31日	木質外被研究開発プラットフォーム	木質外被研究開発プラットフォームは、建築物の木質外被を商品化するために必要な理化学的な研究開発を行うことを目的とし、開口部分野、開口部分野、木材改質分
青木 和壽	R2	ベトナム社会主義共和国 木造・省エネルギー住宅構築プロジェクト	令和2年10月16日	農林水産技術会議事務局研究推進課	日本資源である木材による省エネルギー建材及び構造材の輸出と、日本の木材産業技術を取り入れた木造・省エネルギー住宅のベトナムにけるブランド化提案
青木 和壽	R2	令和2年度高付加価値木材輸出促進緊急対策事業	令和2年3月9日から3月31日（繰り越し令和4年3月31日）	林野庁	日本資源である木材による省エネルギー建材及び構造材の輸出と、日本の木材産業技術を取り入れた木造・省エネルギー住宅のベトナムにける展示会、Webセミナー開催